

令和4年度宮城県美術館公演会



茜さす美術館に音と墨とがあいまみえる。
ふわりと広がるソプラノと、きりと響くヴァイオリン、しっとり包むピアノの音に、薫る墨の軌跡がいざなう。
形・象・容・貌…どんなかたちが生まれるか。

2022年9月11日(日)

17:40開場 18:00開演 (19:00終演予定)

宮城県美術館エントランス・ホール
入場無料 (要事前申込)

主催：宮城県美術館

久しぶりに、宮城県美術館に素敵な音の響きがやってきます。今回は墨のパフォーマンスも一緒です。筆と身体とがひとつになって、墨の軌跡を描きます。声と、ヴァイオリンと、そしてピアノと、一体どんな風にも共演するのでしょうか。夕方のエントランスホールを舞台に、音と墨とが織りなす不思議な世界をお楽しみください。

宮城県美術館



松田 千明(ソプラノ)

声楽を小森輝彦氏に師事。オーケストラ・シリーズにて仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。いかるが音楽コンクール声楽部門総合第1位と同時に斑鳩町長賞受賞。奈良フィルハーモニー管弦楽団と共演。東京国際声楽コンクール声楽愛好者ユース部門最高位。オペラ公演や、故郷秋田・仙台・ドイツ等でのコンサートに多数出演。
<https://linktr.ee/chiakimatsuta>

宮下 琳太郎(ヴァイオリン)

桐朋学園大学音楽学部でヴァイオリンと指揮を学ぶ。全日本学生音楽コンクールをはじめとするコンクールで入賞入選。また、東京・福島・ポストン・バンコク・コルカタなど国内外で指揮を振る。現在は東北大学医学部に在籍。病院を訪問し演奏する「きょうゆうプロジェクト」を主宰し、音楽と医学を結び付けた活動を模索している。
<https://rintaromiyashita.com/>

八巻 梓(ピアノ)

桐朋女子高等学校卒業。桐朋学園大学音楽学部、パリ地方音楽院を経て、プリンス・クラウド音楽院(オランダ)修了。国内外でのリサイタルの他、ルーマニア国内のオーケストラ、仙台フィルハーモニー管弦楽団と共演。ピアノを松本映子、富永睦子、竹内啓子、本村久子、御木本澄子、ジャン=マリー・コテ、ポール・コーメンの各氏に師事。
<https://azusayamaki.tumblr.com/>

亀井 勤(書・墨象)

宇都宮大学精密工学科卒業。ソフトウェア技術者としてIT、AIの研究に携わる。2011年東日本大震災を機にNPO法人みんな一書を設立。幼少から親しんだ書道とIT技術を生かした平和維持活動を開始、現在は墨象家として書ギャラリー「親かめ子かめを拠点に日本芸術文化伝承と地域・国際交流に活動範囲を拡げている。
<https://tom.dot.jp/>



写真撮影：阿部貞彦（阿部写真館）

申込期間

2022.8月2日(火)9:00 ~ 8月28日(日)17:00

定員 100名程度

定員を超えた場合、抽選を行い、結果は申し込み締切日の翌日以降にお知らせします。1週間前までに抽選結果の連絡がない場合は電話でお問い合わせください。※電話は休館日を除く

※この公演会は、主催者側で撮影を行い記録することとしています。あらかじめご了承ください。

申込方法

以下の2つのいずれかで申込ください。

(1)美術館ホームページ申込フォーム

<https://www.pref.miyagi.jp/site/mmoa/education-education-03.html>

(2)往復はがき(1名につき1枚のはがき)

「氏名(ふりがな)」「電話番号」「公演会申込」をご記入の上

〒980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1 宮城県美術館教育普及部まで送付(申し込み締切日必着。返信面に住所・氏名をご明記ください)

お問合先 TEL 022-221-2114(教育普及部直通)



ウェブサイト
QRコード